



学校だより



1月号

令和5年 1月10日
横浜市立善部小学校
校長 福田 美穂

飛躍の年

学校長 福田 美穂

新年あけまして おめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願いたします。

今年も横浜では、とてもきれいな初日の出が拝めました。太陽が地平線に顔を出す少し前から特別な紅い色で輝き、日の光が八方に伸びやかに差すところは、神々しいの一言に尽きます。太陽が澄んだ青空に昇り、白い輝きに変わるまで眺めていると、今年も善部小の子どもたちのたくさんの笑顔ややる気のために、力一杯やるぞという力が湧いてきました。

関東は天気よい年初めでしたが、一方で、北海道や日本海側では例年以上の大雪が降り、年末年始とも雪下ろし等大変な地域がありました。お見舞いを申し上げるとともに、そのような状況でも新年を迎えるため、地域で協力して雪かきをし、自然と共存していく人の強さを感じました。



さて、今年は癸卯(みずのとう)の年。「癸」は、十干の最後で、一つの物事が収まり次の物事へ移行していく段階だそうです。そして、「卯」は植物が多く茂る時期にあたり、繁殖、増えるという段階であると言われています。うさぎが草原をぴよんぴよん跳びまわる様が思い浮かびますね。二つの組み合わせは、去年までのいろいろなことの区切りがつき、次へと向かい、明るい世界の広がりを感じられるという意味だということです。今年こそ、コロナ感染の対応策が確立され、マスクのない日常生活の

中で、もっとにぎやかな子どもたちの笑い声を耳にしたり、もっと多くのきらきら輝く笑顔を目にしたりすることができるかと期待しています。

また、うさぎと言えば長い耳。遠くの音もしっかりとキャッチするアンテナの役割をしています。それにあやかって、今まで以上にいろいろな情報にアンテナをはり、よりよいものを選択しながら学校運営をしていく所存です。

年々加速度的に情報化が進んでいます。その中で、子どもたちは多くの情報との向き合い方や、情報に埋もれず必要なものを選び抜く力を身につけていくことは必須です。しかしながら、直接体験や本物とのふれあいは、そういう時代だからこそもっと重視していきたいと思えます。子どもたちの学びたい、できるようになりたいという気持ちにしっかりと寄り添い、未来に大きな夢をもてるように、職員一同で支援していきます。

今年も保護者の皆様、地域の皆様のご理解ご協力をどうぞよろしくお願いたします。

